

科目名	看護教育論 Principles of Nursing Education		担当教員 (研究室番号)	箕浦とき子 (非常勤)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	1年次 後期	科目 区分	共通科目		選択 区分	選択	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	可
											遠隔授業	否
科目 目的	教育の本質と理論を学び、看護専門職者を育てることのできる看護教育者としての基盤となる教育観と知識を修得することを目指す。そのうえで、看護基礎教育、看護継続教育、制度、方法、実践、評価についての基礎的な知識と技術について学ぶとともに、今後の看護の発展性について考察できる。											
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人が育つということの意味を理解し、看護教育者としての人間観および教育観をもつことができる。 2. 看護教育制度、看護教育カリキュラムの考え方やその目的について理解できる。 3. 看護教育・看護継続教育の方法、実践、評価の知識をもつことができる。 4. 教育を展開するために必要な理論を習得することができる。 5. 看護継続教育における教育プログラムの基本的な知識と技能を習得することができる。 											
成績評価方法 (基準)	クラスへの参加状況(20%)、プレゼンテーション・課題レポート(80%)											
教科書	1) 杉森みどり・舟島なをみ：看護教育学(第6版)、医学書院											
参考書等	<ol style="list-style-type: none"> 1) 箕浦とき子・高橋恵編集：看護職としての社会人基礎力の育て方、日本看護協会出版会 2) 小山真理子編集：看護教育の原理と歴史、医学書院 3) 小山真理子編集：看護教育のカリキュラム、医学書院 4) 舟島なをみ編集：院内教育プログラムの立案・実施・評価、医学書院 5) グレック美鈴・池西悦子：看護教育学、南江堂 6) 田島佳子：看護学教育評価の基礎と実際(第2版)、医学書院 											
受講者への メッセージ	主体的・積極的な学習への参加を希望するとともに、現状を分析する視点を育成し、看護の発展に寄与できる人材を目指して学習して下さることを期待しています。											
備考	必要時資料を配布します。											
回	学習項目			学習内容				主担当 教員	授業 方法			
1回	・教育とは何か、看護教育とは何か			オリエンテーション・スケジュールの調整 教育とは何かについて学び、そのうえで学問としての看護教育学について考察する。				箕浦	講義			
2回	・看護教育制度の変遷			わが国の看護教育制度の変遷を概観し、保健師・助産師・看護師それぞれの職業の成立と、教育・資格制度が整備された過程を理解する。				箕浦	講義 演習			
3回	・看護教育制度の現状			わが国の看護教育制度の現状と特徴を理解し、今後の課題を考察する。				箕浦	講義 演習			
4回	・専門職とは何か ・看護基礎教育と看護継続教育が目指すもの			専門職の特質・基準を理解し、専門職の特徴からみたわが国の看護について理解する。 看護基礎教育の目的を明確化し、看護継続教育との関連と、それぞれの役割について理解する。				箕浦	講義 演習			
5回	・看護学教育課程について			カリキュラムおよび教育課程の概念と定義について学び、カリキュラムの作成過程と成功させるための基本的な知識について学ぶ。				箕浦	講義 演習			
6回	・看護基礎教育における教育方法と学習方法			看護学教育における授業展開を支える理論を学び、そのうえで授業計画の立案のプロセスを理解する。				箕浦	講義 演習			
7回	・看護学教育における授業展開方法			授業設計の必要性と授業の組織化について学び、講義・演習・実習の展開方法の特徴について理解する。				箕浦	講義 演習			
8回	・教育評価の目的と方法			教育評価の意義、何を評価するのか、評価方法などについて理解する。				箕浦	講義			
9回	・指導案の作成			授業の一単元の指導案を立案し発表する。				箕浦	講義			
10回	・臨地実習の特徴と指導方法			臨地実習の特性および方法について理解する				箕浦	講義			
11回	・指導案の作成			実習指導場面を想定し、指導案を立案し発表する。				箕浦	講義 演習			
12回	・看護継続教育における学習者の特徴と学習ニーズ			看護継続教育における学習者の特徴と学習ニーズを理解する。				箕浦	講義			
13回	・看護継続教育のプログラムデザインの基本概念と方法			院内教育のプログラム立案・実施・評価に必要な基礎的な知識について学ぶ。				箕浦	演習			
14回	看護継続教育プログラム案の作成			プログラム対象を明確化し、実際にプログラムを作成する。その上で発表を行う。				箕浦	演習			
15回	まとめ、今後の展望			科目全体のまとめを行い、今後の看護教育を展望することで、それぞれの立場からの関わり方や学習の方向性について認識を深める。				箕浦	講義 演習			